

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度（H29）	最終実績見込み	
特別措置を適用して行う事業	港湾整備事業 外郭施設 係留施設 港湾環境整備施設 臨港交通施設	850m 3基、146m 11,430m2 340m	236m 2.2基、0m 4,590m2 15m (予算換算)	850m 3基、146m 11,430m2 340m	本事業にあたり、当初予定していなかった各種調整等に時間を要した。このため、今後事業期間の延長をすることで、引き続き事業推進を図りたい。
	漁港整備事業 外郭施設 係留施設	285m 8基	31m 2.3基 (予算換算)	285m 8基	整備途中で効果の発現には至っていないが、順次整備を進めており、引き続き事業推進を図る。
その他の事業	瀬戸内 海の道構想	瀬戸内の魅力を世界に発信し、瀬戸内の認知度とブランド力を高め、国内外からの誘客増大を目指すことで、地域の再生を図っていく取組を実施。			地方創生の実現に向けて、国内外からの多くの観光客を誘致すべく、瀬戸内の魅力の国内外へのプロモーションや受入環境の整備、地域産品の開発誘導等、官民が連携しながら、瀬戸内ブランドの確立に取り組んでいる。
	宮島口まちづくり構想	「宮島口」を国際観光交流ゾーンに設定し、観光・交流を先導する役割を担う歴史文化発信拠点として位置付け、歓迎空間の形成などの取組を実施。			平成27年に『宮島口まちづくりの国際アイデアコンペ』を実施し、この結果を踏まえ、廿日市市は平成28年3月に、今後の宮島口のまちづくりにかかるコンセプトを定める『宮島口まちづくりグランドデザイン』を策定した。これに基づき現在は、宮島口のまちづくりをすすめている。
	フェリーターミナル整備事業	「宮島口」において、施設利用者の利便性の向上と、交通弱者への対応及び大規模災害発生時の避難を考慮したフェリーターミナルの整備を実施。			平成28年度から設計業務を開始し、平成31年度のターミナル整備完了を目指し事業を進めている。
	瀬戸内クルージング促進事業	「瀬戸内海クルージングポータルサイト」を運営し、今までにない形の新たな観光需要の掘り起こしを実施。			沖浦漁港フィッシャリーナをはじめとした県内のビジター桟橋等の情報発信を行っており、県内におけるプレジャーボートの利用促進を図っている。
	音戸町まちづくり協議会によるイベント活動	新鮮な魚介類や地元特産品を地元や観光客へ提供し、漁業の振興及び地域経済の発展に寄与する活動を実施。			呉市音戸町の鯛浜地区では、地域の賑わいと活気を生み出そうと協議会が立ち上げられ、音戸名物の「ちりめん」や「いりこ」などを毎月第1土曜日に開催する「音戸の瀬戸ふれあい広場 朝市」で、観光客等に提供し、漁業の振興及び地域経済の発展に寄与する活動を実施している。また、市の無形文化財となっている「音戸清盛祭」などのイベントを通じ、瀬戸内の歴史を発信している。
	廿日市市道 赤崎3号線・14号線改良事業	世界に誇れる国内有数の観光地「宮島」の玄関口となる「宮島口」において、観光シーズン等の慢性的な渋滞解消に向け市道の改良を実施。			慢性的な渋滞改良に向け、赤崎3号線・14号線については設計を終え、早期完成に向けて事業を進めている。
	宮島口地区周辺渋滞対策事業	観光シーズン等の慢性的な渋滞に対応するため、交通誘導員の配置やパーク＆ライド、駐車場満空情報案内などのソフト対策を実施。			ソフト対策に加え、廿日市市においては、駐車場整備も検討しており、H31年度には着工の予定。
	江田島市カキ祭り	江田島市では、県内各地の人々と食を通じた交流促進や地域の活性化を図る目的として、毎年「江田島市カキ祭り」を開催している。			江田島市では、地域の活性化を図る目的とし、地元産のカキのむき身を中心とした販売を行う「カキ祭」を毎年開催し、県内各地の人々と食を通じた交流促進を行っている。また、江田島市の豊かな自然で育った農水産物も扱い、開催地である小用港等のみなとの魅力を観光客等に伝えている。
	西部地区における水産環境整備事業	藻場が付着するための投石や構造物の設置により、漁場機能の回復による水産資源の維持・増加を図る。			平成29年度まで、投石等の増殖場の整備をし、その後も漁場機能の回復を図るために、増殖場中心とした集中的な種苗放流等が行われ、水産資源の維持・増加を図り、魅力あるみなとづくりの取組を継続している。
宝島くらはしまちづくり協議会によるイベント活動	毎月最終日曜日に地域の特産物である活魚などを販売する「くらはしお宝朝市」を開催するなど、漁業の振興及び地域経済の発展に寄与する活動を実施。			倉橋地域では、いわし船びき網やカキ養殖業が盛んに行われており、ここでの漁獲を朝市で販売し、漁業の振興を図っている。また、遣唐使船まつりなどのイベントも実施し、これらの取組を「宝島くらはし(まちづくりセンターだより)」として毎月発行し、ホームページなどで地域の魅力を発信している。	
計画外で独自に実施した事業	該当無し				
④評価方法	関係部署で目標値の実施状況に関する評価・検討を行い、学識経験者に説明し、意見徴収した結果を踏まえ、計画全体の評価および今後の方針とした。				
⑤中間評価の公表方法	広島県ホームページ、江田島市ホームページ				
⑥計画全体の総合評価	本計画では、地方創生港整備推進交付金を活用し、港湾整備と漁港整備の連携を行うことにより、国内外の観光客などの施設利用者および、漁業活動者の利便性・安全性の向上に徐々に向かっていると考えている。しかし本事業効果の発現に向けては、関連事業との連携も図りながら、さらなる事業推進を図る必要がある。瀬戸内海の魅力向上創出さらには、観光客の誘致による産業の活性化や都市部と漁村の交流促進の向上を目指し、世界に向けて発信できるみなとづくりを引き続き推進する。				
⑦今後の方針等	本計画については、学識経験者からの意見を踏まえ、事業進捗および関連事業との連携を図りながら、目標達成に向けて進めていく。このため、事業期間の変更（2年間延伸）を予定しており、成果の発現に向けて引き続き事業推進を図りたいと考えている。				